

# 東日本大震災被災者支援の主な事業



毎年、八幡平市内の中学生と沿岸被災地の中学生が野球やサッカーなどのスポーツで交流しています

28年度も引き続き、東日本大震災によって被災した沿岸市町村の復興を支援していきます。一般会計に計上している主な被災地支援事業は、次のとおりです。

事業名	予算額	事業の内容
がんばろう岩手基金活用支援事業補助金	600万円	市内で活動している団体〔NPO(特定非営利活動法人)や自治会など〕が、被災者支援のために行う活動に対し、補助します。
被災者住宅再建支援事業補助金	100万円	被災者生活再建支援法による支給を受けた世帯が、市内で住宅を新築する場合、その費用に対して補助します。
震災被災者リフレッシュ宿泊事業委託料	1,000万円	宮古市民をはじめとした震災被災者に本市へ宿泊していただき、観光体験などを通じて被災者のリフレッシュを図ります。
サマーチャレンジカップサッカー交流大会被災者支援交流補助金	100万円	県内外の少年サッカーチームを招き、市でサッカー大会を開催します。沿岸被災地からの参加経費を助成します。
八幡平市小・中学校文化連盟・体育連盟災害復興交流事業	903万円	被災地交流事業として創設し、学校の部活動や学校単位などによる被災地住民らとの交流事業を展開します。
震災復興スポーツ交流大会開催事業補助金	640万円	市体育協会加盟団体が沿岸被災地から招待し、市内で交流大会などを開催する際に、その事業に対して補助します。

# 基金と市債の状況

地方自治体の貯金に当たるのが「基金」です。基金は目的別に積み立てられ、役立てられています。一方、市の借入金を「市債」といいます。平成26年度末の市債は、合併年度の17年度末に比べ、26億2,293万円減の335億7,207万円となりました。

なお、県内各市町村の基金残高や市債(地方債)の状況は、29頁をご覧ください。

## 1 基金の状況

※数字は各年度末のもの

名称	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成17年度
財政調整基金	48億8,349万円	44億1,409万円	39億8,011万円	9億3,503万円
減債基金	22億7,250万円	19億7,090万円	19億8,552万円	7億1,085万円
公共施設整備基金	10億7,816万円	12億9,779万円	10億5,769万円	6,857万円
まちづくり基金	4,091万円	4,796万円	5,504万円	1億7,352万円
国際交流基金	9,976万円	1億1,733万円	1億3,434万円	2億2,134万円
地域福祉基金	2億703万円	2億2,128万円	2億3,617万円	4億5,709万円
庁舎整備基金	5億9,058万円	9億1,396万円	9億7,120万円	2億円
地域振興基金	4,098万円	5,760万円	7,099万円	1億2,000万円
農と輝の大地基金	3億45万円	3億4,636万円	4億2,409万円	—
合併市町村振興基金	18億355万円	18億 255万円	15億 188万円	—
ふるさとの水と土保全基金	115万円	215万円	415万円	1,607万円
家畜導入事業基金	0万円	32万円	23万円	96万円
がんばろう岩手基金	6,791万円	9,950万円	5,178万円	—
合計	113億8,647万円	112億9,179万円	104億7,319万円	29億 343万円

※有価証券も含まれます。

▶**財政調整基金**…国や地方自治体は単年度会計が原則ですが、年度によって収入が増減することから、安定した行政サービスを提供するために、余裕があるときに貯金として積み立て、災害などでお金が不足するときに取り崩して賄っています。このようにして積み立てられたお金を財政調整基金といいます。

▶**減債基金**…借入金を返済するために使う積立金です。

▶**その他の目的基金**…庁舎整備や地域づくり、まちづくりのためなどに使う「目的を決めた基金」があります。八幡平市の均衡ある発展のため、平成20年度から合併特例債を活用して合併市町村振興基金を設置しています。いずれの基金も、条例に基づいて設置し、管理運営しています。

## 2 市債の状況

※数字は各年度末のもの

名称	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成17年度
一般会計(旧西根地区衛生事務組合分含む)	193億2,590万円	180億6,310万円	172億4,535万円	216億7,881万円
公共下水道事業特別会計	40億3,766万円	40億8,995万円	40億9,158万円	27億8,015万円
農業集落排水事業特別会計	66億2,188万円	68億4,530万円	70億8,461万円	69億 632万円
浄化槽事業特別会計	1億8,958万円	1億7,861万円	1億6,007万円	2,630万円
国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	2,004万円	2,210万円	2,304万円	3,552万円
索道事業会計特別会計	—	—	—	2億4,710万円
西根病院事業会計	8,152万円	4,663万円	5,533万円	2億2,291万円
水道事業会計	32億9,549万円	33億8,692万円	34億6,695万円	42億9,383万円
公共用地先行取得事業特別会計	—	—	—	405万円
合計	335億7,207万円	326億3,261万円	321億2,693万円	361億9,500万円

▶**市債**…学校や福祉施設などを建設する場合のように、長期間にわたって多くの市民が利用でき、多額の費用が必要なもののために、市が、政府や銀行などから調達する長期的な借入金を「市債」といいます。市債は、後年度に返済しなければなりませんので、市では、国から財政支援が受けられる有利なものを選択するなど、借り入れに当たっては慎重な姿勢で臨んでいます。

# 健全化判断比率は全て適正

## 標準財政規模

標準財政規模は、標準的な市税収入見込み額に地方譲与税や普通交付税などを加えたもので、地方公共団体(都道府県や市区町村)の標準的な一般財源の規模を示すものです。財政力指数や実質収支比率など、各種財政分析数値を算出する際の分母として用いられます。

		標準財政規模	
		26年度	25年度
1	盛岡市	649億9,512万円	盛岡市 649億1,327万円
2	一関市	413億4,275万円	一関市 417億2,718万円
3	奥州市	358億9,489万円	奥州市 363億8,925万円
4	花巻市	290億9,920万円	花巻市 296億6,571万円
5	北上市	217億 58万円	北上市 219億8,772万円
6	宮古市	185億6,194万円	宮古市 189億 389万円
7	八幡平市	121億3,296万円	八幡平市 123億 847万円
8	久慈市	118億3,684万円	久慈市 118億3,045万円
9	遠野市	112億4,247万円	遠野市 113億8,972万円
10	大船渡市	112億 782万円	大船渡市 111億9,677万円
11	釜石市	103億9,335万円	釜石市 104億3,995万円
12	二戸市	101億5,342万円	二戸市 103億1,235万円
13	滝沢市	101億4,045万円	滝沢市 97億2,577万円
14	紫波町	81億9,256万円	紫波町 84億3,454万円
15	陸前高田市	70億3,149万円	洋野町 69億8,087万円
16	洋野町	68億5,186万円	陸前高田市 68億6,558万円
17	矢巾町	63億2,379万円	矢巾町 64億3,852万円
18	雫石町	61億4,906万円	雫石町 63億4,382万円
19	岩泉町	54億9,615万円	岩泉町 56億8,099万円
20	岩手町	53億7,368万円	岩手町 55億9,107万円
21	金ヶ崎町	51億7,070万円	金ヶ崎町 54億8,894万円
22	一戸町	51億3,401万円	一戸町 51億8,977万円
23	山田町	49億2,355万円	山田町 49億3,850万円
24	西和賀町	46億6,839万円	西和賀町 47億9,216万円
25	大槌町	41億1,721万円	大槌町 41億5,031万円
26	軽米町	38億7,838万円	軽米町 39億4,502万円
27	葛巻町	38億1,741万円	葛巻町 39億4,403万円
28	住田町	31億 411万円	住田町 32億3,716万円
29	平泉町	28億6,584万円	平泉町 29億4,792万円
30	九戸村	27億5,659万円	九戸村 28億4,404万円
31	田野畑村	23億2,408万円	田野畑村 23億7,429万円
32	野田村	20億2,277万円	野田村 20億5,252万円
33	普代村	16億7,806万円	普代村 17億2,603万円
	市町村平均	115億3,277万円	市町村平均 116億5,929万円

## 実質公債費比率※

実質公債費比率は、平成19年成立の財政健全化法に基づく健全化判断比率の一つとして採用されている指標です。基本的には、地方債の元利償還金(公債費)を標準財政規模で割ったもので、この数値が18%を超えると地方債許可団体に、25%を超えると起債制限団体に なります。

		実質公債費比率 (%)	
		24~26年度平均	23~25年度平均
1	九戸村	4.8	滝沢市 6.7
2	野田村	6.1	九戸村 6.7
3	住田町	6.2	住田町 6.9
4	葛巻町	6.4	野田村 7.6
4	滝沢市	6.4	葛巻町 7.8
6	岩泉町	6.8	岩泉町 8.2
7	一戸町	9.3	洋野町 10.2
8	洋野町	9.5	田野畑村 10.5
9	田野畑村	9.6	一戸町 10.6
10	西和賀町	9.8	遠野市 10.8
11	軽米町	10.1	軽米町 10.9
12	平泉町	10.2	西和賀町 11.3
13	八幡平市	10.3	八幡平市 11.5
14	雫石町	10.5	雫石町 11.5
15	山田町	11.0	紫波町 11.5
16	遠野市	11.2	宮古市 11.6
16	盛岡市	11.2	平泉町 11.8
18	大槌町	11.3	花巻市 12.4
18	花巻市	11.3	大船渡市 12.5
20	宮古市	11.6	山田町 12.5
21	紫波町	11.8	盛岡市 12.6
21	大船渡市	11.8	二戸市 13.3
23	普代村	12.3	釜石市 13.7
23	二戸市	12.3	普代村 13.8
25	岩手町	13.1	大槌町 14.0
26	一関市	13.9	一関市 14.7
27	釜石市	14.3	岩手町 14.7
28	久慈市	14.6	久慈市 15.5
29	矢巾町	15.5	矢巾町 15.9
29	陸前高田市	15.5	北上市 16.8
31	北上市	16.6	奥州市 16.8
32	奥州市	16.7	陸前高田市 17.3
33	金ヶ崎町	17.5	金ヶ崎町 17.7
	市町村平均	11.2	市町村平均 12.1

## 将来負担比率※

健全化判断比率の一つで、将来負担額(公債費のほか、複数の市町村で構成する事務組合の公債費や、第3セクターの損失補償額など、将来支払う借金的な金額)から基金(貯金)残高を引いた額を、標準財政規模で割ったものです。早期健全化基準は350%で、200%以上は要注意とされます。

		将来負担比率 (%)	
		26年度	25年度
1	陸前高田市	—	葛巻町 —
1	葛巻町	—	住田町 —
1	住田町	—	大槌町 —
1	大槌町	—	山田町 —
1	山田町	—	岩泉町 —
1	岩泉町	—	田野畑村 —
1	田野畑村	—	野田村 —
1	普代村	—	九戸村 —
1	野田村	—	八幡平市 9.8
1	九戸村	—	宮古市 11.3
11	八幡平市	7.2	陸前高田市 11.4
12	宮古市	18.3	大船渡市 13.2
13	大船渡市	24.3	普代村 16.3
14	釜石市	32.5	一戸町 35.7
15	平泉町	46.7	釜石市 35.9
16	金ヶ崎町	50.8	滝沢市 47.0
17	滝沢市	52.7	西和賀町 47.1
18	洋野町	57.0	洋野町 55.1
19	二戸市	60.6	平泉町 62.0
20	西和賀町	62.1	岩手町 72.5
21	一戸町	65.0	金ヶ崎町 73.0
22	軽米町	68.5	遠野市 73.5
23	岩手町	72.2	軽米町 77.3
24	盛岡市	75.6	二戸市 79.6
25	遠野市	80.5	花巻市 81.0
26	花巻市	84.8	盛岡市 89.4
27	紫波町	89.8	紫波町 90.1
28	雫石町	98.8	雫石町 95.0
29	北上市	106.8	北上市 122.9
30	一関市	109.7	一関市 127.2
31	久慈市	130.1	久慈市 135.0
32	奥州市	135.6	奥州市 152.8
33	矢巾町	170.6	矢巾町 154.6
	市町村平均	73.9	市町村平均 70.7

## 実質赤字比率※

健全化判断比率の一つで、一般会計など税金を主な収入源とする会計収支が、標準財政規模に占める赤字の割合です。市町村の場合、その財政規模に応じ、早期健全化基準は11.25~15%で、また、財政再生基準は20%で、それぞれ該当となります。

		実質赤字比率 (%)	
		26年度	25年度
1	全市町村	該当なし	久慈市 0.26

## 連結実質赤字比率※

健全化判断比率の一つで、企業会計を含む一般会計の収支が、標準財政規模に占める赤字の割合です。市町村の場合、その財政規模に応じ、早期健全化基準は16.25~20%で、財政再生基準は30%で、それぞれ該当となります。

		連結実質赤字比率 (%)	
		26年度	25年度
	全市町村	該当なし	全市町村 該当なし

## 資金不足比率

公営企業会計ごとに、資金不足額を事業規模(営業収益の額から受託工事収益額を引いた額)で割ったものです。20%を超えると経営健全化基準(早期健全化基準に相当する基準)に該当しますが、本市の2会計(水道事業、西根病院事業)は、いずれも該当しません。

		資金不足比率 (%)	
		26年度	25年度
	全市町村	該当なし	全市町村 該当なし

平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)が定められ、実質公債費比率など4つの健全化判断比率(表題の右上に※印のあるもの)の公表が義務付けられました。

同様に、公営企業会計の資金不足比率も公表も義務付けられました。

# 着実に基金を積み立て

## 自主財源比率

市町村が自主的に収入できる財源(地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入など)を自主財源といい、それ以外の財源(地方交付税など)を依存財源といいます。自主財源比率とは、収入全体に占める自主財源の割合のことで、この数値が高いほど、財源に余裕があるとされます。

	自主財源比率 (%)			
	26年度		25年度	
1	北上市	48.8	北上市	51.1
2	大船渡市	48.7	金ヶ崎町	50.3
3	陸前高田市	46.9	盛岡市	45.4
4	矢巾町	46.2	矢巾町	42.9
5	盛岡市	45.8	大槌町	42.2
6	金ヶ崎町	44.7	大船渡市	39.4
7	山田町	43.6	滝沢市	39.0
8	田野畑村	42.5	普代村	36.6
9	大槌町	41.4	宮古市	34.2
10	滝沢市	40.1	花巻市	34.2
11	釜石市	37.7	山田町	33.7
12	宮古市	36.3	紫波町	33.4
13	紫波町	36.1	雫石町	33.1
14	花巻市	33.4	陸前高田市	33.0
15	久慈市	33.3	住田町	32.4
16	雫石町	33.0	田野畑村	31.8
17	奥州市	32.9	久慈市	31.3
18	二戸市	31.4	釜石市	31.3
19	一戸町	30.9	奥州市	29.1
20	平泉町	30.1	一戸町	27.8
21	軽米町	29.4	岩手町	27.4
22	岩手町	29.3	一関市	27.1
23	一関市	28.1	平泉町	26.8
24	西和賀町	27.3	遠野市	26.4
25	遠野市	26.2	野田村	25.2
26	岩泉町	25.5	二戸市	24.8
27	八幡平市	25.4	八幡平市	22.2
28	住田町	23.4	洋野町	22.1
29	葛巻町	22.8	葛巻町	19.6
30	普代村	22.7	岩泉町	19.3
31	洋野町	20.5	西和賀町	19.2
32	九戸村	18.5	軽米町	17.9
33	野田村	17.3	九戸村	17.9
	市町村平均	33.3	市町村平均	31.2

## 経常収支比率

経常収支比率は、経常収支(借り入れたお金の返済金である公債費のほか、人件費や扶助費など、経常的に支出される額)を、毎年経常的に収入される一般財源で割った数値です。財政構造の弾力性を判断する指標とされ、数値が低いほど、臨時的な経費の財源を確保できることとなります。

	経常収支比率 (%)			
	26年度		25年度	
1	金ヶ崎町	74.9	九戸村	73.0
2	九戸村	75.1	岩泉町	75.3
3	陸前高田市	80.3	住田町	76.8
4	住田町	80.5	遠野市	78.7
5	岩泉町	80.6	西和賀町	79.1
6	大槌町	81.8	大槌町	80.9
7	山田町	82.2	葛巻町	82.1
8	西和賀町	83.0	花巻市	82.7
9	葛巻町	83.1	金ヶ崎町	83.6
10	遠野市	83.2	野田村	84.0
11	軽米町	83.7	田野畑村	84.3
12	八幡平市	85.8	普代村	84.3
13	花巻市	86.0	雫石町	84.6
14	田野畑村	86.3	軽米町	84.7
15	雫石町	86.9	紫波町	85.1
16	久慈市	87.8	八幡平市	85.5
17	一戸町	87.9	一戸町	85.6
18	北上市	88.5	北上市	85.8
18	奥州市	88.5	陸前高田市	85.8
20	紫波町	89.0	久慈市	86.0
21	岩手町	89.2	山田町	86.2
22	一関市	89.3	岩手町	86.4
23	平泉町	89.4	平泉町	86.5
24	普代村	89.6	大船渡市	86.7
25	二戸市	89.9	一関市	88.0
25	洋野町	89.9	滝沢市	88.0
27	滝沢市	90.2	二戸市	89.3
28	野田村	92.0	矢巾町	89.8
29	大船渡市	92.9	洋野町	89.9
30	盛岡市	93.2	奥州市	90.7
31	宮古市	93.8	宮古市	92.6
32	矢巾町	94.2	盛岡市	92.9
33	釜石市	95.8	釜石市	93.7
	市町村平均	86.8	市町村平均	85.1

## 基金残高

市町村の貯金を「基金」といいます。基金は、特定の目的のために積み立てる「特定目的基金」、毎年度のやりくり用の「財政調整基金」、借金返済用に積み立てる「減債基金」に大きく分けられます。一般的に、財政的に余裕があるときに基金を積み立て、急な出費や災害などの際に取り崩して活用します。

	基金残高			
	26年度		25年度	
1	釜石市	904億4,749万円	釜石市	776億7,205万円
2	陸前高田市	714億7,886万円	陸前高田市	733億6,309万円
3	山田町	622億7,790万円	山田町	644億5,080万円
4	大槌町	598億7,804万円	大槌町	626億2,841万円
5	宮古市	516億5,881万円	宮古市	483億7,493万円
6	大船渡市	375億3,264万円	大船渡市	399億4,688万円
7	一関市	196億 461万円	一関市	166億3,842万円
8	田野畑村	141億9,297万円	田野畑村	164億6,396万円
9	奥州市	137億1,543万円	奥州市	142億1,713万円
10	盛岡市	127億5,806万円	盛岡市	116億9,247万円
11	花巻市	124億5,649万円	八幡平市	112億9,236万円
12	野田村	113億9,486万円	野田村	107億9,958万円
13	八幡平市	113億8,704万円	花巻市	104億8,121万円
14	岩泉町	88億7,909万円	岩泉町	84億8,915万円
15	久慈市	63億8,127万円	久慈市	81億3,860万円
16	北上市	60億6,422万円	北上市	64億1,927万円
17	洋野町	54億7,479万円	洋野町	55億6,761万円
18	二戸市	48億5,352万円	二戸市	50億6,987万円
19	遠野市	47億7,918万円	遠野市	49億7,365万円
20	葛巻町	47億3,047万円	葛巻町	44億3,395万円
21	九戸村	41億8,317万円	九戸村	36億7,363万円
22	住田町	33億7,684万円	住田町	32億6,933万円
23	金ヶ崎町	26億3,537万円	西和賀町	32億5,108万円
24	西和賀町	26億 607万円	矢巾町	30億1,891万円
25	矢巾町	25億6,057万円	金ヶ崎町	24億9,457万円
26	一戸町	22億8,719万円	軽米町	24億6,033万円
27	軽米町	22億1,614万円	一戸町	21億8,015万円
28	紫波町	20億2,348万円	滝沢市	20億8,397万円
29	滝沢市	17億6,787万円	紫波町	19億3,109万円
30	平泉町	17億1,644万円	岩手町	16億5,254万円
31	普代村	16億9,819万円	普代村	16億3,462万円
32	岩手町	16億3,605万円	平泉町	15億7,616万円
33	雫石町	15億2,447万円	雫石町	14億9,883万円
	市町村平均	163億6,902万円	市町村平均	161億1,632万円

## 地方債残高

市町村の借入金を地方債といい、地方債を借り入れることを「起債」といいます。起債は、将来世代も使う公共施設や基盤整備に限られていて、人件費などに使うことはできません。また、地方債には、過疎債や合併特例債などのように、地方交付税として、国からその大半が交付される有利なものもあります。

	地方債残高			
	26年度		25年度	
1	野田村	30億 540万円	野田村	28億1,553万円
2	普代村	35億3,144万円	普代村	36億 357万円
3	九戸村	39億8,335万円	九戸村	39億 73万円
4	田野畑村	46億2,684万円	田野畑村	47億5,374万円
5	平泉町	50億 917万円	平泉町	51億5,575万円
6	葛巻町	56億1,068万円	住田町	51億8,348万円
7	住田町	58億9,563万円	葛巻町	56億6,600万円
8	大槌町	59億2,410万円	大槌町	61億8,078万円
9	軽米町	69億4,088万円	軽米町	69億1,023万円
10	山田町	70億9,088万円	山田町	73億7,522万円
11	西和賀町	77億6,473万円	西和賀町	73億7,920万円
12	一戸町	82億8,828万円	雫石町	80億9,574万円
13	雫石町	84億4,033万円	一戸町	85億7,821万円
14	金ヶ崎町	91億5,410万円	金ヶ崎町	96億9,991万円
15	岩手町	94億 772万円	岩手町	97億2,000万円
16	紫波町	111億2,863万円	紫波町	107億5,309万円
17	陸前高田市	123億1,208万円	岩泉町	120億3,507万円
18	岩泉町	125億9,027万円	陸前高田市	123億8,370万円
19	矢巾町	129億1,058万円	矢巾町	126億 116万円
20	洋野町	144億9,625万円	洋野町	132億7,991万円
21	滝沢市	149億 330万円	滝沢市	143億6,211万円
22	八幡平市	193億2,590万円	八幡平市	180億6,310万円
23	釜石市	202億7,491万円	釜石市	195億5,663万円
24	大船渡市	205億9,928万円	遠野市	209億9,881万円
25	二戸市	206億5,945万円	大船渡市	210億5,341万円
26	遠野市	213億3,155万円	二戸市	213億1,036万円
27	久慈市	263億 704万円	久慈市	266億9,170万円
28	宮古市	341億8,401万円	宮古市	358億6,268万円
29	北上市	395億9,934万円	北上市	432億1,517万円
30	花巻市	532億9,588万円	花巻市	541億 492万円
31	奥州市	805億1,304万円	一関市	836億6,288万円
32	一関市	860億 676万円	奥州市	839億5,676万円
33	盛岡市	1,306億9,573万円	盛岡市	1,301億3,386万円
	市町村平均	219億9,417万円	市町村平均	220億9,222万円

# 八幡平市の行政機構

市は、平成28年4月から、市の行政組織・機構を再編しました。主な改正点は、次のとおりです。

- ①部制を廃止
- ②市長公室を再編し、企画財政課を新設
- ③防災安全課を新設
- ④農政課に安代総合支所土木林業課林業係を移管し、農林課に改称
- ⑤西根・安代総合支所の課を廃止
- ⑥松尾総合支所を廃止
- ⑦教育委員会事務局学校教育課を再編し、教育総務課と教育指導課を新設

平成28年度の行政機構は、下のとおりです。

## ≪平成28年度の行政機構≫

課・所属所など	係名	主な業務
企画財政課	秘書政策係	秘書、総合計画、政策調整、行政改革、行政評価など
	地域戦略係	移住・定住、ふるさと納税、再生可能エネルギーなど
	広報広聴係	広報、広聴、要覧、市勢記録、ホームページなど
総務課	財政係	財政計画、予算編成、指定金融機関、財政公表など
	行政係	請願、職員採用、人事給与、例規など
	契約係	入札、契約、入札参加業者資格管理など
	管財係	公有財産総括管理、指定管理者、公用バス運行管理など
防災安全課	情報統計係	地域情報化、行政情報化、統計、情報公開など
	地域安全係	交通安全、防犯、交通災害共済、空き家対策など
地域振興課	消防防災係	消防団（本部）運営、災害対策、八幡平遭難対策など
	地域振興係	国際交流、姉妹都市、交通対策、通学定期補助など
スポーツ推進課	市民協働推進係	協働のまちづくり、社会教育、教育振興、行政相談など
国体推進室	スポーツ推進係	スポーツ振興、体育団体の育成、体育施設管理運営など
	総務企画係	国体の開催および運営の総合的な企画調整など
	競技式典係	国体の競技団体との調整、競技運営、式典など
	宿泊輸送係	国体の宿泊、輸送、警備、救護、環境衛生の調整など
税務課	国体推進係	国体の業務の推進に関することなど
	市民税係	市民税・国民健康保険税・軽自動車税の賦課など
	資産税係	固定資産税の賦課、土地・家屋評価、国土調査など
市民課	収納係	納税相談、税金の収納業務、納税証明書の発行など
	戸籍住民係	戸籍、住民登録、埋火葬許可、旅券事務など
	環境衛生係	環境衛生、ごみ処理計画、墓地・公葬地など
清掃センター	国保年金係	国保、後期高齢者医療、国民年金、医療費助成など
斎場	清掃センター	一般廃棄物（ごみ）の中間処理・最終処分など
地域福祉課	斎場	斎場の管理運営
	福祉総務係	民生委員、社会福祉法人指導監査、出会い支援事業など
	生活保護係	生活保護法による保護決定及び実施など
	障がい福祉係	障がい者支援、自立支援サービスなど
保育所	児童福祉係	児童手当、家庭児童相談、保育所、子育て短期支援など
	保育所	保育所の管理運営
健康福祉課 (地域包括支援センター)	健康推進係	各種検診（健診）、保健指導、母子保健、食生活改善など
	高齢福祉係	高齢者福祉、敬老事業、高齢者生活支援、介護保険など
	包括支援センター係	高齢者の総合相談、介護予防、成年後見制度など
農林課（農業振興支援センター）	農政係	農業振興、農業振興地域整備計画、内水面漁業など
	農業振興支援センター係	経営所得安定対策、担い手（新規就農等）育成確保など
	畜産係	畜産振興、市営牧野の放牧、家畜防疫など
	林業係	林業振興、市有林管理、林道管理、有害鳥獣対策など

課・所属所など	係名	主な業務
花き研究開発センター		新品種開発、採種（芽）親株供給、海外輸出など
地域資源利活用施設		若者定住条件の改善、地域資源の活用など
商工観光課	商工労政係	商工業振興、中小企業融資、雇用対策など
	観光振興係	観光行政総合企画、団体育成指導、観光宣伝など
	企業立地推進係	企業立地推進、起業家支援、誘致企業の育成など
安代漆工技術研究センター		漆器の技術研究、技術者育成など
安比塗漆器工房		漆器作成・販売など
建設課	管理係	道路・河川・橋梁の維持管理、除雪、用地取得など
	土木係	道路・橋梁の新設改良、河川改修など
	建築係	市営住宅、建築確認申請など
	都市計画係	都市計画、宅地等開発行為など
上下水道課	経理係	上下水道料金の算定・収納、会計処理、資産管理など
	維持管理係	給排水指定店、上下水道施設の維持管理、水質検査など
	工務係	上下水道事業計画、上下水道施設の建設・改築など
会計課	出納係	収入書類の審査、有価証券の出納、小切手の振出しなど
	審査係	支出書類の審査、決算の調製、県収入証紙の販売など
西根総合支所	地域振興係	自治会活動費の補助、通学定期の購入補助など
	市民福祉係	戸籍、住民基本台帳、諸税収納など
西根地区市民センター		西根地区市民センターの管理運営など
安代総合支所	地域振興係	自治会活動費の補助、通学定期の購入補助など
	市民福祉係	戸籍、住民基本台帳、諸税収納など
	土木林業係	道路・林道・河川などの維持管理、除雪など
田山支所	市民係	戸籍、住民基本台帳、諸税収納など
防災ダム管理所		防災ダム群の維持管理など
田山スキー場		田山スキー場、索道の管理運営など
病院・診療所		
西根病院	医局	内科、外科、小児科、専門外来（循環器、糖尿病など）
	事務局（医療係）	病院内事務など
	事務局（建設係）	病院建設など
安代診療所	医局	内科、外科、歯科
	事務係	所内事務など
田山診療所	医局	内科、外科
	事務係	所内事務など
議会		
事務局	議事係	本会議・委員会の運営、請願・陳情、会議録作成など
教育委員会		
教育総務課	総務係	委員会庶務、奨学金、教育施設整備、総合教育会議など
	学事係	学級編成、通学区、教科書の無償給与、就学援助など
	文化財係	文化財の保護、調査研究など
教育指導課	指導係	教職員への指導助言、教材、教育相談など
小・中学校		小・中学校の管理運営など
学校給食センター	西根地区学校給食センター	学校給食の計画、学校給食センターの管理運営など
	安代地区学校給食センター	
図書館		図書館の管理運営など
博物館		博物館の管理運営など
選挙管理委員会		
事務局		選挙の管理・執行、選挙人名簿、選挙啓発など
監査委員		
事務局		監査、決算審査の計画・実施・結果報告など
農業委員会		
事務局	農地調整係	農地の権利移転・転用、農地流動化、農地相談など
	農業振興係	農作業賃金、農業者年金、後継者対策など